

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。「企業のちから」は、市内の企業やものづくり・人づくりを紹介するコーナーです。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

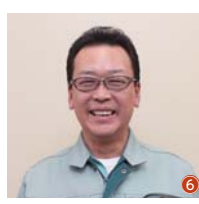
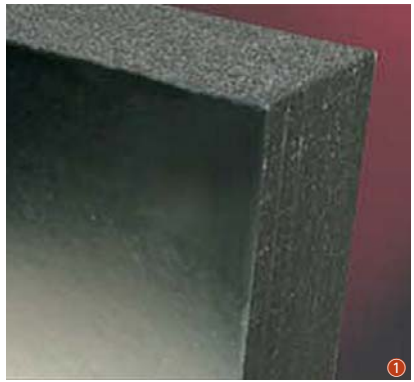
No.36 The company in Shirakawa

日本カーボン(株) 白河工場
NIPPON CARBON CO., LTD.

住所：表郷小松字隠久保1-5
事業内容：炭素製品の製造販売



**カーボンが持つ無限の可能性を追求する
炭素工業のパイオニア**



- ① 主要製品の炭素繊維断熱材は、縦100cm、横150cm、厚さ4cmの板材です。
- ② 工場外観。広大な敷地は、今後、増設する場合にも十分に対応できます。
- ③ 従業員の皆さん。提案制度を設け、日々改善に努めています。
- ④ 工場内部の様子。カーボンと金属を複合させた製品も作っています。
- ⑤ 耐熱性を増すために高温真空炉で熱処理をする様子。この炉にも自社製品が使用されています。
- ⑥ 「優秀な従業員たちがこの工場の誇りです」と話す香山さん。

「私たちの会社は、炭素製品の製造メーカーです。軽量・耐熱性に優れているカーボンの特性をいかし、主に炭素繊維断熱材などを製造しています」と話す工場長の香山豊彦さん。

日本カーボンは、大正4年に神奈川県横浜市で創業。以来、炭素工業分野の先駆者として業界をけん引し、今年で創立100年を迎えます。東北地方への事業拡大や交通の利便性から、昭和62年に自社で5番目となる白河工場を建設しました。炭素繊維断熱材は、2,000℃を超える耐熱性があるため、高温炉で広く使用されていて、最近目にするのが多い太陽光パネルも、この断熱材を使用した高温炉で作られています。

敷地面積は41,200㎡、従業員は19人でそのほとんどが地元出身者です。仕事に対する熱意や責任感が強く、改善意識が高い従業員ばかりで、担当している仕事以外もこなし、高い生産性を可能にしています。そのため、少人数にもかかわらず、自社工場の中で一番の利益率を上げています。

「白河工場の製品で世界のトップシェアを占めることが目標です。また、カーボンが持つ無限の可能性をいかした商品を開発し、将来の社会や地球に役立つ製品作りをしていきたいです」と香山さんは力強く話してくれました。

スイッチオフを心掛けよう
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。



ふくしま destinations キャンペーン

**ツーリズムガイド白河 推薦スポット①
しらかわの贈り物**



解説
小峰城跡の東に位置し、法務局の裏に案内板、階段を上った正面に墓碑があります。春には、入口付近から、趣の異なる城跡の桜を見ることができます。

戊辰薩藩戦死者墓
慶応4年閏4月25日、戊辰戦争で政府軍の13人が稲荷山付近で戦死。この中に元新選組隊士で薩兵の武川直枝がいました。当初、松並に葬られましたが、後に鎮護神山に改葬され台座には武川の名があります。流山で投降した大久保大和を新選組局長近藤勇と見破ったのが、武川と加納道之助と言われています。近藤が板橋で処刑されたのも、同じ閏4月25日であり、何かの因縁を感じます。往時の出来事を忍びながら、墓碑を囲む楓の密やかな色付きがお勧めです。



ツーリズムガイド白河会員
館岡秀明さん Tateoka Hideaki

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。 ☎ (公財) 白河観光物産協会 ☎ 1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



https://www.facebook.com/city.shirakawa

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、「大信中学校第47回卒業証書授与式」での門送の様子です。卒業生は学校生活の思い出を胸に、お世話になった恩師や在校生との別れを惜しみながら、それぞれの新たなステージへ向け笑顔で旅立ちました。